

小学部への主なコメント

No.	所属先	内容
1	特別支援学校	複数の動画を見ることで、子どもの主導の自由遊びと教師主導の設定遊びの意図、遊びの単元をつくるまでの流れや工夫、子どもの様子、それぞれがつながり、よくわかりました。
2	特別支援学校	毎回環境構成のダイナミックさに感服しております。一方で、先生方の働き掛けあつてのものにだと思いますが、そのあたりの意図などをもっと可能であればリアルタイムで聞きたかったです。
3	特別支援学校	ダイナミックな遊びの指導の単元を学ばせていただきました。なお、呼称について小中学部ともに「くん」「ちゃん」である点は気になりました。卒業後の社会参加も見据えて、早期の段階から「〇〇さん」の呼称に児童生徒が慣れておくことが必要だと考えます。
4	学生	自由遊びと設定遊びの使い分けがとても素晴らしいと思った。積極的に活動できる児童と少し消極的な児童とどちらも目的や意義をもって活動できていると感じた。何事にも意義をもって活動していることを知っていい刺激を受けた。
5	特別支援学校	遊びのひろがりを目指した、様々な仕掛けに驚きました。滑り台などのダイナミックなものから、リングのイヤリングなど小さな工夫まで、大変素晴らしいと感じました。子供たちのエピソードから、内面の読み取りへの落とし込んでいく上での、教師同士の語り合いがあり、次への工夫につながっているのだと感心しました。
6	教育関係機関	遊びの様子や深い学びがどういうことかよく分かりました。いかに教師が行動の意味や解釈ができるかがポイントだと思いました。かなり主観的になると思うのですが、これが非常に大事だとここ最近思っています。
7	就学前施設	幼稚園に勤務しております。拝聴しながらうなずく場面が多く、広い場所での各コーナーに遊びを用意したり、児童(幼児)同士でのやりとりを意図的にもうけたりと、改めてスタートカリキュラムを活かしたいなと思いました。事例を拝聴して感じた事は、教師と子供との信頼関係が一番大切だと思いました。
8	特別支援学校	小学部の経験がなく、遊びの指導でどのように主体性や対話、学びの深まりを求めていくのかと思っていましたが、考えが整理できました。
9	特別支援学校	子ども達が段ボールを片付けている様子は映っていましたが、切った紙くずなどの細かいものも自分達で片付けているのでしょうか？また、事前のビデオで（シールを貼る）段ボールの箱を持って先生が楽しそうに運ぶ真似をしていましたが、実際の場面では段ボールはセットされていたのがなんでだろうと思いました。（子ども達と一緒にわっしょいわっしょい運んでくるのかと思っていたので）
小学部から ・片付けについて 遊んだ後の片づけは、できればしっかりと取り組んでほしいという思いはありますが、子どもの実態や、思いきり遊んだ後の場の状況を踏まえ、細かい物までは行っていません。「身の回りにあるものを一つ片付けてから帰りましょう」ということを子どもに伝えています。 ・段ボールをセットしていたことについて 自由遊びの場面では、そうすることで遊びが広がる児童もいると考え、あらかじめすべり台の上に箱を置いていました。事前のビデオで行っていた遊びは、「設定遊び②」として「自由遊び」の合間に体育館で行っています。そのときにはご想像の通り、皆で作ってわっしょいわっしょいすべり台の上まで運びました。（この場面がビデオに映っていませんでしたね。）		
10	就学前施設	遊び場での子供の成長・学びの姿と遊具を作る時に考えたことは今回一番興味を持ち知りたかったことなのでとても参考になりました。また、事例の一つとして挙げられていたはさみでただ切り続けるだけ、ということも遊びの一つととらえていることに考えを改めさせられました。
11	教育関係機関	対象児童の6年間での変容にとっても感激しました。研究全体に通じることですが、子どもたちの姿をしっかり記録し、その中に「深い学びの姿」を見出し、授業改善につなげていくことの有効性を感じました。真鍋先生の「『深い学び』というものは、教師の評価で結論付けるものではなく、子ども自身が主であることを常に自問自答しながら授業づくりをしていくことが大事。」との言葉がとても印象的でした。
12	特別支援学校	実際に子供たちが遊んでいる姿が見られて良かったです。年間を通しての生活単元、遊びの指導の内容や、単元の設定までの過程も紹介されていて、とても分かりやすかったです。
13	特別支援学校	小学部全体でとても楽しく、また6年間を通して成長を感じられる取り組みをされていていいなと思った。

14	特別支援学校	子供たちの目線に立って、子供たちがどう動くかを職員全体で共通理解されていたところがとても良かったです。ねらいがはっきりしていて、分かりやすかったです。なによりも、子供たちが夢中になって遊びを広げていくところが、とても楽しそうでした。
15	小学校	児童に興味をもたせるための導入のビデオ視聴は、参考になりました。先生方の団結力がありより良いものを提供していくという思いが伝わりました。
16	特別支援学校	児童主導の活動と教師主導の活動で授業を組み合わせることが大変参考になりました。遊びの様子のビデオ視聴やみんなで集まって同じ遊びをすること等、試してみたいと思いました。また、遊び道具だけでなく、様々な素材を準備することで実態に応じた遊びができると思いました。
17	学生	授業動画から、様々な素材と関わりながら自分で試したり、教師や友達と関わりながら楽しんだり児童が伸び伸びと遊びを楽しむ姿が見られた。素材遊びは教師が予想しない方向に発展することもあり面白い題材だと思った。
18	特別支援学校	「素材あそび」を中心としたとのことでしたが、今後の活動について、予測や見通しについて教えていただきたいです。

小学部から

今回は研究として素材遊びに注目し、工夫を促すための環境設定などについて考えました。他方で授業としては子どもが楽しいと感じて遊ぶことが第一と考え、多様な遊びができる場づくりを心掛けています。今後の「授業」については、研究の成果を生かしつつ、今までと同様に多様な遊びができる場づくりをしたいと思います。今後の「研究」は次年度以降のテーマを検討中です。

19	中学校	子どもがどのようなきっかけや教材で遊びに興味や関心が向くか、とても分かりやすかったです。6年間の変容は、子どもの主体性を大切にされた指導や支援のおかげかと思いました。
20	特別支援学校	Cさんの遊び、伝え方、相手の広がりがよく分かりました。モノを介して人と関わったり、興味を広げていく姿がCさんの日常の生活場面に生かされていくのだろうと感じました。
21	特別支援学校	遊具の種類の多さと規模の大きさに、ビックリしました。本校でこのような規模の遊具を作成し実施するとしたら、遊具の作成時間の確保や体育館は他学部の使用もある為、場所の確保の難しさが考えられ、難しいな・・・と感じ、どのようにすれば本校でも実施できるのか考えさせられました。
22	学生	お人形をパジャマに着替えさせたり、お風呂に入れたりというように、子どもたちが遊びを楽しみながら普段の生活を活動として行っている姿をみて、設定を決めて内容は子どもに委ねるというスタンスが深い学びを引き出すことにつながっているという印象を受けました。
23	特別支援学校	遊具を作るときに考えたことの説明があることで、遊びの指導の授業づくりの考え方が深まりました。参考にさせていただきます。
24	特別支援学校	滑り台等の大型遊具？はあの期間ずっと設置ですか？その間の体育など体育館使用に影響はありませんか？

小学部から

遊具は単元期間中、遊具は体育館に置かせてもらっています。ただし、そのまま放置ではなく、どのくらいスペースを空けてほしいかを他学部と相談し、授業時間以外は遊具を動かしスペースを空けています(例年、体育館の約半分を空けています)。

25	特別支援学校	自由な遊び空間を準備するなかで、してほしい遊びの設定を工夫されていて勉強になりました。長期にわたって遊びの時間の流れという枠を確立されてきている研究努力がよくわかりました。子供たちがとても楽しみにしている時間というのもつたわってきました。
26	就学前施設	児童の姿を寄り添いながら深く追求していく事、先生方が意見を出して計画している様子がエピソードも加えられながら説明されていてとても分かり易かったです。また、予想外の姿にも着目して次の構成を考えていらっしゃる事がとても参考になりました。
27	教育関係機関	遊びの指導について、具体的な実践のあり方がとてもよく分かりました。 Rくんの6年間の変化など、遊びの指導と子どもの育ちとの関連が分かり、遊びの指導の教育的意義を実感することができました。 遊び場の細部に先生方の願いが込められていること、子どもと遊具との関わりを通して活動が発展していること等も理解できました。

28	特別支援学校	私も以前の勤務校で体育館に大型遊具等の遊び場をつくっていました。授業を見させていただき、その時のことを思い出しました。あのときの児童達にどんな学びがあったのか、どうしてあんなに自分から自分で精一杯遊び込む姿につながったのかなど、いろいろ思い返すきっかけとなりました。遊びの単元を通して児童に大きな変化があったこと、遊びにのめり込んでいた児童が中学部の作業学習で真剣に取り組んでいたことなども思い出すことができ、自分の中での原点のようなものを思い出ことができました。ありがとうございました。
29	小学校	みんなの町を想定した遊具や学びの場を考え、遊びを通した学びの深まりや広がりについて研究された動画を視聴し、楽しみながら学ぶ授業、環境作りに感動しました。
30	特別支援学校	遊びの道具や場所などダイナミックで子どもたちがおもいっきり楽しめている中に、しっかりと深い学びに繋がっていて、とても参考になりました。
31	特別支援学校	小学部に勤務していますが、教育課程に同じような遊びができないものか、相談したいと思いました。また、授業準備や子どもたちの安全面など細かいところがいろいろと気になってしまいます。滑り台など、大きな遊具は手作りでしょうか？単元中は体育館に設置したままにできていたのでしょうか？「教員も一緒に遊ぶ」形は本当にその通りだと思います。でも、脱走する子や友達とトラブルになる子、危険なことをする子など、いろいろと目が離せなくてつい見守りになります。人数的にも一対一では付けられないので、どのようにされていたのか気になります。

小学部から

・遊具は手作りか？

遊具は基本的に手作りの物が多く、すべり台は手作りです。トランポリン、スラックラインなど既製品を用いることもあります。本校では手作り遊具を主としていますが、手作りでなければいけないとは考えていません。

・体育館に設置しているか

No.9 のご質問にお答えした通りです。

・安全上配慮が必要な子どもへの対応をどうしているか

授業計画の段階では、一人ひとりの好きな遊び、居場所を想定しており、そのためか幸いに場から離れてしまう子どもはとても少ないという状況です。ただし可能性はあるので、場を柵で囲う、体育館のドアを開けっ放しにしないなどして対応しています。

友達とのトラブル、危険行為についても同様に、居場所や好きな遊びがあるためか、幸いにも頻繁には起こりません。ただし、当然これらもゼロではありませんので、危険な遊びは制止しますし、歩行が不安定な子ども一対一で対応するケースもあります。また、ハサミを使う遊び、高い所での遊びなど「子どもだけでは行わないようにする遊び」を教員間で共有し、必ず教員が一緒に行うようにしています。環境面でも事前に危険な遊びが起こりにくい場を計画します。このとき危険についてリスク（子どもが気づき回避することを学ぶことができるもの）とハザード（安全上取り除くべきもの）という観点で捉えています。

32	福祉施設	教師の方が設定した環境から子どもたちが遊びを展開させていく姿がとても印象的でした。映像資料では、Cさんの遊びの姿を追っていく中で本人の心情を深く理解しよう、遊びを広げたいという教師の方の思いが感じられました。子どもたちが自分から「遊びたい」と感じるような工夫がたくさんあり、授業紹介の映像は大変興味深かったです。
33	特別支援学校	テレビ電話は、このご時世だからこそ、という感じがして、おもしろいと思った。 感覚遊びが中心の子どもにとっての素材への関わり、関心の広がり、学びの姿など今後の成長が楽しみ
34	学生	「やりたい活動を選んで遊べる」「工夫して遊ぶ余地が大きい」ことで、それぞれの子どもたち自身が「考え、行動していく」機会を増やしていて、その力を育てているのだと感じました。こども自身の気づきや工夫を生かすことの重要性、そのためには授業に柔軟性を持たせることが必要であるのだと学ぶことができました。
35	就学前施設	一緒に遊ぶことでの学びが大切であることや姿に合わせて対応することなど今、行っている保育に繋がっていることを再確認できました
36	特別支援学校	大人でもワクワクするような環境設定で、どれだけの知恵と時間がかかっているんだろうと思いました。そして、物だけではなく先生方の意図や丁寧な言葉掛けにより子どもたちの生き生きとした活動や学びが生まれているのが伝わりました。
37	就学前施設	子供たちが主体となって、遊び込むことで深い学びに繋がると改めて感じました。それを支えるのは教師の援助、環境構成で、ねらいを常に意識して子供たちの姿や心の変化に瞬時に気付き、その都度環境の再構成をしていく大切さを学びました。それは、幼児期の子供たちにも通ずるところがあると感じました。